

Q 1 自然環境政策とエネルギー政策に対するお考えについて伺います。

- ① 青森県は、白神山地をはじめ、本事業が行われようとしている十和田八幡平国立公園や、下北半島、津軽といった国定公園を有しておりますが、八甲田山を含む十和田八幡平国立公園に対する候補者の思いがあればお聞かせください。

A 自由記述

回 答

- 大竹 進 候補者** 未来の子供たちへ引き継ぐ、かけがえのない財産です。
- 関 良 候補者** 十和田八幡平国立公園は青森県の豊かな自然がある場所、この自然を守っていききたい。自然には手をつけないでいただきたい。
- 西 秀 記 候補者** 八甲田は青森市民にとって母なる山であり、青森市民の心のよりどころであることから、今後もその自然を守り続けなければならないと思っています。
- 野崎 小三郎 候補者** 宮川大助花子師匠を奥入瀬溪流にご案内したことがあるが大助師匠は身体が大自然と一体となるこの場所は世界で一番素晴らしい場所だとおっしゃいました。
十和田八幡平国立公園の豊かな大自然は訪れるすべての人を魅了します。悠久の時を経て形成された未来へそのままの形でしっかりと受け継いでいかなければならない最も重要な財産であると認識しています。

- ② 現三村県知事が2022年8月3日午後の定例記者会見の中で、「水の循環ネットワーク」が環境保全の中で一番重要であると答えていらっしゃいます。

これまで青森県で培われてきた「水の循環ネットワーク」を破壊しかねない森林区域での「再生可能エネルギー」開発の在り方について、候補者のお考えをお聞かせください。

- 1 森林区域での再生可能エネルギー開発には反対
- 2 再生可能エネルギー導入の為に森林区域の開発もやむを得ない
- 3 法律に則っていれば問題は無い

自由記述（

）

回 答

- 大竹 進 候補者** 選 択：1
自由記述：森は海の恋人です。
- 関 良 候補者** 選 択：1
- 西 秀 記 候補者** 選 択：該当なし
自由記述：森林区域内の中でも水源かん養保安林などの特に守らなければならない区域での開発は反対です。また、景観保全の観点からも景観上問題になる区域での開発も反対です。それ以外の区域については、その都度判断すべきと考えますが、その適地は本県内にはほぼ残っていないと思われます。
- 野崎 小三郎 候補者** 選 択：1

③ 青森市が目指すべくエネルギー政策の中で、再生可能エネルギーに対する候補者のお考えについてお聞かせください。

A 自由記述

回 答

大竹 進 候補者 自然環境と共存できる再エネを目指します。農地ソーラーシェアリングを検討します。

関 良 候補者 環境破壊に繋がらないように配慮し、再生可能エネルギーを進めていくべきと考えます。

西 秀 記 候補者 陸上の太陽光発電や風力発電は、広大な土地を必要としますが、既に相当数が建設されており、これ以上の開発の余地は残っていないと考えています。今後は世界第6位の広大な排他的経済水域を有する我が国において、洋上風力発電の可能性に期待が寄せられています。遠い沖合での風力発電であれば、沿岸漁業者への影響も景観上の問題も生じません。

野崎 小三郎 候補者 再生可能エネルギーの開発は次世代に向けて非常に重要な事と認識しておりますが、自然環境との共生を前提とするべきであり、自然環境を維持したうえで進めるべきであると思います。自然環境を破壊するようなことは許さず将来世代に向けて豊かな自然環境を継承することを前提としたルール作りゾーニングをしっかりと行っていくべきと考えております。

Q2 本事業で新たに電力が得られる反面、八甲田山を含む十和田八幡平国立公園に近いエリアでは景観や野生生物（イヌワシ、クマタカ等の稀少な猛禽類やコウモリ類、渡り鳥）への影響が大きく、取り付け道路を新たに新設や国立公園内の林道を拡幅する必要のある山の中では、森林（保安林）伐採や土地改変による生態系の破壊や災害発生の恐れ、陸奥湾に近いエリアや青森市街地エリアへ公害（騒音・振動・低周波等）のリスクがあると当会は考えています。以下の点に関する候補者のご意見をお聞かせください。

① 本事業による野生生物や生態系への影響や、景観や災害発生の恐れや生活環境への影響といった住民生活に及ぼす不安をお持ちでしょうか。

- 1 本事業が与えるかもしれない各種影響について懸念が大きい
- 2 懸念はあるが再生可能エネルギーの普及の為には多少の影響は仕方がない
- 3 懸念はない

自由記述（ ）

回 答

大竹 進 候補者 選 択：1

関 良 候補者 選 択：1

西 秀 記 候補者 選 択：該当なし

自由記述：各種の懸念については、それらを払拭できるか否かについて調査研究することが重要だと思います。

野崎 小三郎 候補者 選 択：1

② Q2-①で1、2と答えた方にお聞きします。上記の懸念を払拭するために、候補者が市長に就任した際には、事業者や県に対してどの段階で、どのような対応を取るのか、お聞かせください。

- 1 早急に事業者へ「白紙撤回」を求め、県に対しても対応を求める
 - 2 次に出される環境影響評価書の「方法書」の内容を見てから県に意見を述べる
- 自由記述 ()

回 答

大竹 進 候補者 選 択：1

関 良 候補者 選 択：1

西 秀 記 候補者 選 択：該当なし

自由記述：事業者へ白紙撤回を求め、県に対しても対応を求めると同時に、正式な手続きとして方法書等に対する意見書に「白紙撤回要求」を明記します。これを受けて白紙撤回となった事業は数多くあります。

野崎 小三郎 候補者 選 択：1

③ 今後、事業者から本計画に関連して、保安林指定解除や林地開発許可申請が出された場合に、候補者が市長に就任した際には、どのような点に配慮して意見を述べるのかお聞かせください。(複数回答可)

- 1 保安林の公益的機能や地域住民の暮らしの安全が損なわれる恐れがある場合は承諾しない
 - 2 該当保安林の利害関係者の意見も重要
 - 3 許可、解除基準に適合する場合は承諾する
- 自由記述 ()

回 答

大竹 進 候補者 選 択：1

関 良 候補者 選 択：1

西 秀 記 候補者 選 択：1

自由記述：公益的機能や暮らしの安全が損なわれるか否かによらず、例えば保安林内の開発は認めないというルールを作るよう県に働きかけます。

野崎 小三郎 候補者 選 択：1

Q3 青森県における風力発電事業の状況等について伺います。

① 現知事意見によれば、「方法書において、本事業実施想定区域周辺における既存及び計画中の風力発電事業との累積的環境影響が想定される環境影響評価項目を想定すべき」旨指摘されていますが、本事業想定区域周辺において、多数の事業者が風力発電事業を計画していることに対し、候補者はどのようなお考えでしょうか？

- 1 十和田八幡平国立公園周辺に風力発電はしない
 - 2 経済効果が生まれるのであれば賛成する
- 自由記述 ()

回 答

大竹 進 候補者 選 択：1

関 良 候補者 選 択：1

西 秀 記 候補者 選 択：1

自由記述：八甲田の森林を守り、大事な水源を守るために、これ以上の陸上風力発電は不要です。

野崎 小三郎 候補者 選 択：1

② 青森県は「風力発電等に係るゾーニング導入可能性検討モデル事業」において、洋上風力発電事業のゾーニングを実施しています。当会は陸上風力発電事業にも導入するべきと考えますが、青森市長候補者としてお考えをお聞かせください。

1 陸上風力でもすぐにゾーニングを取り入れるべきだ

2 陸上風力においてゾーニングを実施する必要は無い

3 青森県は既に風力発電導入量日本一の為、推進区域に指定できる場所が残り少ないので、ゾーニング導入は難しい

自由記述 ()

回 答

大竹 進 候補者 選 択：1

関 良 候補者 選 択：1

西 秀 記 候補者 選 択：該当なし

自由記述：ゾーニングだけでは景観上の問題は解消できません。景観を守るためにはさらに広いエリアでの制限が必要と考えます。ただし、もはやこれ以上の開発可能な適地は残っていないと思われます。

野崎 小三郎 候補者 選 択：1

③ 青森市が描く未来の地域ビジョンに向けて、大切な地域資源を後世に引き継いでいく為に、青森市としてどのような再生可能エネルギー開発等に対する施策をお持ちかお聞かせください。(複数回答可)

1 再生可能エネルギー特別委員会の設置

2 県民参加型の再生可能エネルギー第三者委員会の設置

3 自治体条例の策定

4 大型風力発電機に対応した既存条例の改訂見直し

自由記述 ()

回 答

大竹 進 候補者 選 択：2、3、4

関 良 候補者 選 択：3

西 秀 記 候補者 選 択：1、3、4

自由記述：再生可能エネルギーの今後のあり方を検討することは必要です。2の県民参加型の第三者委員会と特別委員会との違いが不明だったため重複を避けるために特別委員会のみとしました。

野崎 小三郎 候補者 選 択：2、3

以上